

2018年度 強化合宿レポート(7月)

作成：山本広報

JAPAN SPORT

COUNCIL

日本スポーツ振興センター

競技力向上事業

■日時：2018年7月7日(土)～8日(日)

■場所：7月7日(土) 東京 東京ガステニスクラブ
7月8日(日) 埼玉 道満グリーンパーク

■参加者：

《強化育成選手》

親松直人(7/7のみ)、笹島航太、今井悠翔、門根維吹(7/8のみ)
喜多美結、河邊美佐(7/7のみ)

《スタッフ》

岩岡コーチ、松下強化統括部長(7/7のみ)、伊藤強化統括副部長、笹島ドクター、
八田トレーナー、伊久美通訳、梶野事務局、山本広報

■7月7日(土) 9～16時

東京ガステニスクラブのトップ選手と試合(シングルス、ダブルス)



■7月8日(日) 8~14時

- ・アップ(八田トレーナー)
- ・ショートラリー(低いボール、トップスピン、アンダースピン)
- ・ロングラリー、ボレーストローク
- ・球出し(3球ストレート→4球目クロス)
- ・サーブ、サーブリターン(高い打点でのリターン)
- ・アンダースピンラリー
- ・試合



伊藤強化統括副部長コメント

今回の合宿ではまだ選手とコーチの関係が縮んでいないように感じた。
コーチの指導方針に疑問を感じる選手があり、コーチの意図を理解するにはもっと
コミュニケーションを図る必要があると感じた。

選手はコーチに質問をし、またコーチもデフ選手に伝わるような伝え方を工夫する必要があると感じた。

私はコーチの考え、選手の気持ちを個々に聞いたが、まずはお互いを尊重することから始めること
が

大事なのではと思った。

その辺りの工夫が今後の課題だと思う。